

# シルバーとよた

第 83 号

発行：2024.8

編集：普及促進委員会



公益社団法人

豊田市シルバー人材センター

〒471-0027 豊田市喜多町6丁目61番地1(豊田市福祉就業センターふれあいの家内)

TEL:0565-31-1007 FAX:0565-34-3238

ホームページアドレス

<https://webc.sjc.ne.jp/toyota/>

メールアドレス

[toyota@sjc.ne.jp](mailto:toyota@sjc.ne.jp)



ホームページ

会員数

2024.7.31現在

1,968名(1,989名)

○男: 1,334名(1,341名)

○女: 634名(648名)

( )は昨年同日時点





に働き共に喜び地域社会に貢献しよう

安全は一人ひとりが責任



# 令和6年度 定時総会

6月6日(木)、令和6年度定時総会を開催しました。今年度は豊田市福祉センターのホールで行いました。

総会前に、「笑門来福 落語の会」による落語を鑑賞しました。その後、長年にわたって活動された会員86名を表彰しました。

議事については、議長に選任された朝日丘・

逢妻地区の松尾康二正代表の進行のもと、令和5年度事業報告及び収支決算、役員選任の議案が上程され、いずれも承認されました。

議事終了後は、安全・適正就業委員会の夏目誠委員長による安全宣言が行われました。



記念公演 笑門来福 落語の会  
主宰 社会人落語家 藤家 宿六 様



当日の受付の様子





## 会員表彰

86名の方が受賞されました

登壇者

高田	公一	会員(左)
神谷	好子	会員(中央左)
今井	悦朗	会員(中央右)



会長  
幸村 的美



豊田市長  
太田 稔彦様



安全・適正就業委員会 夏目 誠 委員長による安全宣言



# 新会長・新副会長就任あいさつ

シルバー会員の皆様、このたび  
幸村前会長の後を受けて新会長  
に就任しました安田明弘と申し  
ます。私は昭和57年に豊田市役  
所に入り、主に地域づくり・まち  
づくりを担当し、多くの地域の  
方々と共に汗を流してまいりま  
した。そして今、コロナ禍を経て、  
コロナ後の新たな地域づくり  
に大きな関心を持っているところ  
です。

思いを馳せながら、一人でも多く  
の方々が私たちの仲間になって  
いただけたらと思っています。  
そのために、まずは会員の皆様  
の安全を第一に、多様な就業機会  
の提供や能力を十分に発揮でき  
る環境づくりを進めていく必要  
があります。今後、新たな社会・  
経済状況の変化に合わせた対応  
や方向付けも求められますが、会  
員の皆様と共に持続可能なセン  
ターづくりを進めてまいりたい  
と思っています。引き続きの、セ  
ンターへのご支援をお願い申し  
上げ、就任のあいさつとさせてい  
ただきます。



新会長  
安田 明弘

シルバーに入会して12年目、このたび副会長の  
大役を仰せつかりました。  
今年度は第3次基本計画の最終年度となりま  
す。昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染  
法上の位置付けが第5類に移行され、社会経済活  
動が少しずつ進み始めましたが、シルバーでは会  
員数の減少など厳しい状況が続いています。  
今年度も、安全・適正就業の強化、入会促進、就  
業機会の拡大、顧客・会員満足度の向上などの課  
題に向けて、少しでも貢献できるよう努力して参  
りたいと思います。  
センターの基本理念である「自主・自立、共働・共  
助」に基づき、会員の皆様が健康で楽しく就業や  
自主活動に取り組んでいただけるよう、ご理解・ご  
協力をよろしく願います。



新副会長  
勝野 隆



# 前会長・前副会長退任あいさつ



前会長  
幸村 的美

会長に就任したのは令和2年6月、新型コロナウイルスによる初の緊急事態宣言が解除されて間もない時期で、総会も縮小開催となった中でのスタートでした。

当時は新型コロナウイルス感染がどのように拡大・縮小するのかかわからず、何事をするにも慎重になっていったように思います。加えて、シルバー事業はコロナに伴う委託の減少、イベント中止による出店の減少など苦難の日々が続きましたが、昨年5月のコロナ5類移行による様々な制約緩和ややっと息を吹き返した感じでした。コロナ禍でも会員並びに事務局の皆さんが熱心に仕事に取り組んでいただいたお陰で、何とかこの非常事態を乗り切ることができた

ことに心から感謝しています。

インボイス制度、フリーランス新法などシルバーを取り巻く環境は引き続き厳しい状況にありますが、内職サロンや新たな自主グループ活動の立上げなど素晴らしい取組みが続いています。多くの皆様に喜ばれる豊田市シルバーを目指して、これからも頑張っていたきたいと思います。あっという間の4年間でしたが、自分にとっては貴重な学びの場となりました。皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。



前副会長  
高田 公一

令和6年6月の定時総会をもちまして、副会長の任を終えることができました。

この2年間、経営会議に出席させていただいたり、当センター会員が参加するふじまつり、ガーデニングフェスタ、シルバー活いき感謝祭など、各地で開催される様々なイベントに参加させていただいたりしました。

副会長としてセンター運営に携わる中で、事故及び苦情処理対応における関係職員の大変さ、イベントへの出店時における各支所長及び各班の会員の皆さん方のご苦勞などを強く感じました。

今後は私もシルバーの一会員としてお世話になりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



# 委員会

# 活動報告

前任の委員長・部会長に  
振り返っていただきました。

## 総務委員会



勝野 隆 委員長

当委員会では、昨年より実施していた「シルバー杯マレットゴルフ大会」を、11月14日(火)河合池マレットゴルフ場で開催しました。当日は43名の会員が参加し、快晴の中、ナイスプレーが続出しました。なんとホールインワンを達成した方が7名もおられて、シルバー会員のレベルの高さを感じました。当初の目的である会員同士の交流が図られ、楽しいひと時を過ごすことができました。また、令和5年度は新たに「ゴルフクラブ」と「健康麻雀クラブ」が発足し、多くの会員の交流の場が立ち上がりました。

会員交流会のあり方について、地

区別で開催するのかが、従来の地域班で開催するのかを検討しましたが、各地区の実情を考慮して、今年度も実施可能な地区のみ開催することにしました。今後、開催時期を特定しないで、例えばポランティア地域活動と同時に実施する等、交流会を有意義な場として開催できるよう検討していきます。

毎年実施してきた「シルバー人材センター会員アンケート」の質問項目を一部見直すことで、より会員の生の声を反映して、シルバー人材センターの運営に寄与できるよう努めてまいります。

## 安全・就業適正委員会



夏目 誠 委員長

当委員会では、「安全第一」を念頭に「重篤事故『ゼロ』、けが『ゼロ』、賠償事故『ゼロ』」を目指し、組織を挙げて会員の就業事故、特に重篤事故の予防強化を図るために、委員会による安全就業パトロールを「安全点検チェックシート」に基づいて実施しました。

また、県シ連のパトロールでは、「急

傾斜ばかりで事故発生リスクが極めて高い」との指摘を受けました。その対策として、視察現場の所有者に「安全柵を設置して大きな事故を回避すること」と「足場の幅を広げて、踏み外しによる転倒・転落の恐れを解消すること」を依頼し、安全作業ができる体制としました。

安全就業パトロールを実施することで、「現場」がよく分かり、事故防止や課題解決につながることを確信しました。今後とも現場現物主義で委員会活動に繋げていけたらと思います。



## 就業開拓 委員会



柴田 正次郎 委員長

当委員会は、次の3つの項目について活動しました。

### ①就業相談会

未就業会員の方を対象に地区・エリアを分け、交流館などを会場として年間3回開催することができました。また、相談会を通じて就業に繋がった実績もできました。

今後もし引き続き計画し、未就業の方に寄り添った相談会にしたいと考えています。

### ②自主事業の開拓

会員の方がより働きやすい環境づくりを基に、年齢を重ねても楽しく就業できる場や会員同士の繋がりが感じられる場の提供として、令和4年度より「内職交流サロン」を開催し、簡単な内職体験を実施しました。

令和5年度は、就業相談会に参加された方にも、相談の待ち時間を利用した内職体験企画を行いました。

### ③防草ネット・シート張り講習会

3月、下山地区や足助地区の草刈班を中心に、本所地区や各支所地区での受講を希望される会員及び委員会メンバーを含めた講習会を実施しました。

講師をお招きし、平坦な場所だけではなく、法面や畦畔(あぜ道等)などに合わせたネット張りを学ぶことができました。

今後も継続的に取り組んで、会員育成を進めたいと考えています。

## 普及促進 委員会



河合 敏之 委員長

2年前の改選時、外出自粛等によってイベントが中止となる中、新たなメンバーによる普及促進委員会

が立ち上がりました。人と関わる機会が減ったため、シルバーとよたの作成が活動の中心となりました。

79号では、春のイベントや豊寿園売店や山室花はうすの紹介記事を掲載しました。

80号では、シルバー活いき感謝祭やシルバー杯マレットゴルフ大会の様子、きこの班の活動紹介を行いました。また、「スキップとよた」の活動が盛んになり、女性の集いの紹介も行いました。

81号からは、総会等の情報を少しでも早くお届けしようと、発行時期を10・3月から8・2月に変更しました。各種イベントも盛んになり、シ

ルバー会員の活躍をたくさん紹介することができるようになりました。

82号は色合いや紙質を工夫し、明るい印象になりました。2月発行という事で門松づくりを大きく紹介したり、「シルバーお仕事レポート」と題して、剪定班・清掃班・表具班の仕事内容を紹介しました。

普及促進委員会の委員は、積極的に取材活動や執筆活動をして下さいました。委員会内でも活発な発言が挙がり、充実した委員会活動を行うことができました。



## 女性部会 スキップ とよた



神谷 好子 部会長

「スキップとよた」は、その名の通り『軽やかに楽しく』をモットーに、女性会員の増加に向けて取り組んできました。

女性が興味・関心のあるものをテーマに、メイクセミナー、リースづくり、おしゃべり会、健康寿命を延ばすストレッチ、歌や踊りなどを企画してきました。こういった研修はいつも人気で、アンケートからも皆さん満足されていたことが読み取れました。

しかし、この楽しさや喜びがセンターへの入会に繋がったかという点、必ずしもそうではありませんでした。イベント参加を通じて得た「楽しかった・嬉しかった」という気持ちで冷めないうちに入会に誘う↓魅力的な就業先が見つかる↓入会成

立……といったサイクルができるようになったのかもしれない。

また、仕事をするということは健康でいられること、誰かのためになっているという喜びが生まれるということ、なによりもお金がいただける自分を高めることに使えるところ、こういったことをもっとアピールすべきだったと猛反省しています。

会員の皆さま、今後ともスキップとよたへの応援とご支援をよろしくお願いたします。



### レポート

## 健康づくり講座

立春を2日後に控えた暖かさを感じる2月1日(木)、女性部会「スキップとよた」主催の健康づくり講座に行ってきました。

「睡眠と栄養の知恵袋」と題し、明治安田生命保険相互会社の鈴木秀典さんの軽快な語りで、高齢者にありがちな「眠れない・眠りが浅くなった」などのお悩みの解決策を学びました。睡眠・活動タイプ、体内時計、深部体温のこと、上手にリラックスする方法、今日から始められる工夫等、役に立つことばかりで、ワンランク上の日常を手に入れることができそうです。

講座の後は、穴埋めクイズで脳みそに汗をかき、次に振り付けを習って「血液型の歌」に合わせてフォークダンスです。歌詞のおもしろさに笑い、振りを間違えて笑い、と、参加

者一同はじけました。

帰りにはすてきなプレゼントもいただきました。





# クラブ活動紹介

## 囲碁将棋クラブ「一生会」

3月29日、一生会主催の「第3回囲碁・将棋大会」が豊寿園教養棟で開催されました。

参加者は囲碁10名(女性4名・男性6名)、将棋6名(男性6名)で、それぞれリーグ戦で行われました。

会長の船木7段の指導のもと、他の同好会で研鑽している人や有段者もあり、静寂の中を昼過ぎまで熱戦が繰り広げられました。



### ◆成績

囲碁の部	優勝:清水 洋子さん(2回目)
	準優勝:館 幸一さん(初)
将棋の部	優勝:沢田 光 さん(2回目)
	準優勝:鈴木 勝義さん(2回目)

## 健康麻雀クラブ



健康麻雀は、「賭けない、飲まない、吸わない」をモットーに遊ぶ麻雀で、卓を囲んだ者同士の交流を図るとともに、物忘れ防止や発想力の向上、認知症予防が期待できる活動です。

令和5年10月から立上検討会を重ね、1月15日(月)のプレ開催を経て、4月15日(月)からふれあいの家で定期開催となりました。

第1・3月曜午後はベテラン向けの「東西南北(としゃなんぺい)」、第4月曜午後は初心者や交流を楽しみたい方向けの「にこにこ」の2班体制で開催しています。

会場や麻雀卓の都合もあり、現在は募集を停止するほどの入会をいただいています。

就業以外の交流の場として、これからもクラブ活動を盛り上げていきたいと思えます。



## しいたけ菌打ち体験講座

明るい日差しに恵まれた3月9日(土)、小原地区にある緑の公園でしいたけの菌打ち体験講座が行われました。参加者は31名。菌打ちをしたことのない人がほとんどで、説明の時から質問が挙がり、作業に入ってからスタッフはあちこちから呼ばれ、丁寧に指導してみえました。

原木の太さも大小色々。長さ60cmとはいえ、ところどころへこんでいたり、皆さん考えながら穴を開ける位置を決めて、ドリルで30個ほどの穴を開け、種菌の駒を打ち込んで完成させました。ここまでの作業は短いですが、美味しいしいたけをいただけるのは『ふた夏越えた秋以降』ということです。それまでは、原木に菌が回ってうまくコラボしてもらえるように、愛情を注がなくてはなりません。管理の手順についても質問が多くありました。収穫の笑顔が見られますようにと願いました。



## 藤岡マレットゴルフ大会



春の陽気に包まれた晴天の3月16日(土)、恒例になった「藤岡マレットゴルフ大会」が行われました。

今回の参加者は24名。新たに整備され9日に太田市長もお祝いにお越しいただきオープンしたばかりの足湯コース18ホールを回りました。既存のコースに比べて難易度は低いということでしたが、工夫を凝らした楽しめる作りになっています。参加者もほぼ常連さんになってきていますが、成績発表では上位が大きく変化したのは驚きでした。賞品は、1～3位、当日賞、BB賞、最下位のホタル賞があり、BB賞・ホタル賞はなかなか良いものいただけるので、ぜひご参加ください。年4回開催予定です。皆さんの参加をお待ちしています。詳しくは、藤岡支所までお問い合わせください。



## ふじまつり

4月20日から5月5日にかけて、ふじの回廊で「ふじまつり」が開催されました。

藤岡支所では、27日(土)に会員によるごみ拾いボランティアと会員募集のチラシ・グッズ配りをしました。開始前に曇りが怪しく、傘を持っていてよかった



と思うほどでしたが、晴れを呼ぶみんなのパワーのおかげで、お客様も増えて賑やかになり、ボランティア・広報活動にも力が入り、会員同士の交流にも一役買うことができました。

本所からはイベント班のたい焼き・みたらし・たません、ソーイング班の布製品。足助支所からはぜんざい、焼き物の販売など、他地区からも出店があり、大いに盛り上がっていました。

幸村会長と高田副会長からも激励をいただき、満開に近づいた藤の花の香りに癒され、普段とは違う記憶に残る一日を過ごすことができました。

## とよたガーデニングフェスタ

「とよたガーデニングフェスタ2024」が、4月27日から29日まで西山公園で開催され、山室花はうすも出店しました。

今年はかわいい動物苔玉づくり、タネ団子づくりなど、子どもが楽しめる企画が多数あり、親子での来場が多く賑わっていました。花はうすでは、ペチュニアの鉢植え、ジニアの色違い、マリーゴールドの色違い、オルレア、デイジー等、年明けから準備をしてきました。

幸村会長と高田副会長が激励に訪れてくださり、会員の士気も大いに高まる中、お客様とおしゃべりをして楽しく買っていただきました。



## 歩かまい稲武

最高気温が30度を超えた翌日の5月19日(日)、前夜から降り続く雨に不安を感じましたが、始まってみれば「曇り時々小雨」という、歩くのに支障のない一日になりました。

市内での高齢化率一位の稲武地区ですが、観光やイベントを地域の皆さんで盛り上げており、シルバー

の会員も一役担っています。

本所イベント班は、多くの参加者のお腹を満たすべく、たい焼き・みたらし・五平餅を次々と焼いていました。売れ行きも好調で、焼き上がるのを楽しみにされているお客様もみえました。

稲武支所は、シルバー人材センターのPRで、会員募集とセンター案内を行っていました。また、花はうすの花苗販売もしていましたが、スタート前のお客様が置き置きを頼まれるので、早々に無くなっていました。

緑豊かな稲武で多くの会員が活躍しています。ぜひ訪れてみてください。





# 脳細胞 頑張れる クイズ

**Q1** ひらがなを並び替えて、言葉を作ってください。

1. かいちょうのふじいお (
2. せーかんたくりよ (
3. ねんれいわろく (
4. きむらぶききし (
5. わしがとむよくね (

ヒント:町名)  
 ヒント:施設名)  
 ヒント:唇)  
 ヒント:人名)  
 ヒント:人名)



**Q2** 漢字を一文字入れて、二字熟語を完成させてください。

※問題によって矢印の向きは異なります!



昇 ↓  
 退 ← □ ⇒ 化  
 ↓  
 路

築 ↑  
 刷 ⇒ □ ⇒ 刊  
 ↓  
 旧

野 ↓  
 善 ⇒ □ ← 不  
 ↓  
 人

**Q3** 5秒で計算してみましょう!

$99 \times 9 = \underline{\hspace{2cm}}$



**Q4** 超難問!? 常識クイズ

初夢で見ると良いとされる「一富士 二鷹 三茄子」。  
 この続きはなんでしょう?

## ひとり言

シルバーの剪定班に入って12年になります。

思えば、人の縁はとても不思議ですね。

定年後は趣味の木版画と母校のボート部のコーチを夢見ていましたが、まさか剪定をするとは……。

現役の時に厄年会の縁で前林木遣り保存会に誘われて入会したら、たまたま木遣りの会長が剪定班の班長で、「剪定班は旅行したり呑み会があつて楽しいよ」と誘われ、酒につられて入会したわけです。剪定など初めてで苦労しましたが、皆さんとても親切で、今まで続けられました。

また、高岡地区の当時の正代表との縁で、ピンチヒッターとして普及促進委員会に入り、4年間色々なイベントに参加して、取材等楽しい経験をさせていただきました。

これからも委員会の皆さまとの縁を大切にして、シルバーを楽しみたいと思っています。

(T・T)